

総合的な 学習の時間	第8学年	呉市立天応学園	指導者 開内 佑樹 米谷 伸幸 大井 千泉
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">単元名</div> Work & Myself ～働くことから見つける私の未来～		令和7年10月2日(木) 8A教室・2A教室・技術室 計29人	

「本質的な問い」・「単元を貫く問い」について	
本質的な問い	「働く」とはどういうことか。
単元を貫く問い	働く上で大切なことは何か。
単元について【単元観】	
<p>本単元「Work & Myself ～働くことから見つける私の未来～」は、現実の職業や働く人々との出会いを通して、生徒が「働くこと」の意味や価値を多面的に捉え、自らの将来像を主体的に構想することを目指すものである。</p> <p>本単元は、「働くとはどういうことか」という本質的な問いのもと、関心のある仕事についての調査や、実際の職場体験、教員体験、地域の大人との座談会など、探究の過程の中で体験や対話を重ねていく構成である。これらの活動を通じて、生徒は働く人の思いや社会との関わりについて実感をもって理解し、自分自身の価値観と照らし合わせながら、働くことへの見方を広げていく。また、本単元では、働く人の声を聞いたり実際の現場で活動したりする体験を通して、生徒一人ひとりが「働くこと」を自分の人生に引き寄せて考えることができるようになることを重視している。調べる、聞く、体験する、振り返るという一連の学習活動の中で、生徒は他者との関わりを通して視野を広げ、自分なりの価値観や将来の在り方を見いだしていく。</p> <p>本単元は、キャリア教育の一環として、生徒が自分の「今」と「これから」を見つめる一つのきっかけとなることを期待している。</p>	
生徒について【生徒観】	指導の工夫について【指導観】
<p>①<u>将来への意識は芽生え始めているが、本気で将来について考えようとする意識はやや薄い。</u></p> <p>「将来、社会に貢献したい」(75.0%)や「働く人の思いを聞いてみたい」(78.6%)といった高い関心が見られる一方、「将来就きたい仕事は明確に決まっている」は46.4%にとどまり、職業理解や将来を設計する力はまだ発展途上である。</p>	<p>①<u>学習構成を工夫し、将来像の具体化を支援する。</u></p> <p>将来への意識はあるものの職業観が明確でない生徒が多いことから、職業調べや働く人へのインタビュー、座談会などを、探究の過程で生徒の学習状況に応じて取り入れ、「働くこと」に対する考えや価値観を少しずつ具体化できるようにする。</p>
<p>②<u>幅広い仕事への関心はあるが、具体的な行動を起こすまでには至っていない。</u></p> <p>「いろいろな仕事に興味がある」は71.4%と高いが、「興味のある仕事について自分で調べている」は35.7%と低く、受け身の姿勢が見られる。働くことの実体験や対話的活動による刺激が、内発的な学びを促すきっかけになり得る。</p>	<p>②<u>単元の導入で、自発的な課題設定や調査活動を促す。</u></p> <p>広い関心を深い学びにするために、「自分が知りたいこと」を起点とした問いの設定を行い、主体的な情報収集や整理、発信につながるよう学習活動を展開する。また、学習活動後の共有や振り返りを通して学びの価値を高められるようにする。</p>
<p>③<u>基本的な礼儀やマナー、対話に課題を抱えている。</u></p> <p>「職場体験を楽しみにしている」は100%と、全員が前向きな思いをもっている。一方で、日常的な礼儀やマナーを大切に、他者との関わりを通して学ぶ姿勢等の社会的スキルが十分に身に付いていないという課題には気付いていない。</p>	<p>③<u>自己実現や社会参画に向けた自身の課題に気付かせ、その改善や伸長への思いを抱かせる。</u></p> <p>職場体験や教員体験の前に、自身の課題に気付かせた上で、マナー教室を実施し、基本的な礼儀やマナーを学ぶことができるようにする。さらに、体験後の振り返りや座談会を通して、他者と考えを交流する場を設け、実生活・実社会で必要な資質・能力の基盤となる対話的な姿勢と社会性を育てられるようにする。</p>
<p>[働くことについての生徒アンケート(4/30実施)より]</p>	

1 単元目標

職場体験や働くこと座談会（仮称）等の活動を通して、働くことの意味や働く人の思いを理解し、働くことに対する自分の価値観を深め、自己の将来と結び付けて考えるとともに、将来どんな働き手になりたいかという具体的なイメージをもつことができるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①働く人の思いや考え方は人それぞれで、いろいろな価値観等があることを理解している。 ②収集したい情報に合わせて、適切な方法で効率的に情報を収集し、確かな情報を集めている。【情報収集力】 ③自分らしく働き、社会に貢献したいという認識の高まりは、「働くこと」について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。	①地域社会や世界の複雑な問題状況の中から課題を見だし、仮説を立てて検証方法を考え、計画を立案している。 ②自分の目的を意識しながら、方法を選択して情報を収集し、種類に合わせて類別して情報を蓄積している。【批判的思考力】 ③収集した情報を、視点を定めて分析したり、因果関係を推測したり、説明したりしている。【情報活用力及び批判的思考力】 ④他教科で培った表現力等を活用したり、学習の仕方を振り返り、根拠をもちながら他の学習や生活に生かしたりしている。【情報活用力】	①探究活動を通して、自分のよさや、他者のよさを生かしながら学び合おうとしている。【協働性】 ②自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとしている。【協働性及び挑戦心】 ③地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分にできることを検討し、実践しようとしている。【挑戦心】

※本校で重点的に育成する資質・能力【情報収集力、情報活用力及び批判的思考力、協働性及び挑戦心】

3 単元の計画（全 70 時間）

小単元 (時数)	学習内容	評価規準		他教科等との関連
		知 思 態	評価方法	
1 今の自分の思い、働く人たちの思いを知ろう。(10)	課題の設定 ・「働くこと」についての考えを深めるための方法を考える。	①	ワークシート 振り返り	
	情報の収集 ・「自分の思い」や「働く人の思い」を知る方法を考える。 ・働く人へのインタビューやアンケート等の調査活動を実施する。 ・自分の興味のある職業について調べる。	①	ワークシート 振り返り	
	整理・分析 ・「働くこと」についての自己の価値観を整理する。 ・収集した情報を整理・分析し、「働くこと」への自他の考えや思いを比較・分類する。	②	ワークシート 振り返り	数学科 「データの比較」
	まとめ・表現 実行 振り返り ・ここまでの学習や自分の興味・関心を踏まえて職場体験先希望調書を作成する。 ・職場体験で体験したいことや伸ばしたい力について、考えたことを発表する。	①	ワークシート 制作物 振り返り	国語科 「わかりやすく伝える」
2 リアルな職場を体験しよう。(36)	課題の設定 ・職場体験を有意義なものにするための方法を考える。 ・個々で研究テーマ（考えたいこと、仮説、検証方法等）を設定する。	②	ワークシート 振り返り	

	情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験に向けて必要な情報を収集する。(事業所への事前訪問, マナー教室, 先輩からの助言等) ・各事業所で職場体験をする。 ・職場の方へインタビューし, 働き手の生の声を聞く。 	②		ワークシート 振り返り	道徳「挨拶は言葉のスキンシップ (B7)」
	整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験で得たことや残った課題を整理する。 ・職場体験前後での自己の考えの変容や深まりを捉える。 ・職場体験で得た情報をもとに, 研究テーマへの考察を加える。 		③	ワークシート 振り返り	国語科 「論理的に考える」 「敬語の意味と種類」
	まとめ・表現 実行 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・自己の学びや成長, 感謝の思いを伝えるための礼状を書く。 ・研究テーマに対する自分なりの考えをまとめ, 発表する。 		④	ワークシート 制作物 振り返り	国語科 「プレゼンテーション」
3 働くことへの考えを深めよう。 ～ワンモア職場体験・働くこと座談会を通して～ (24)	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験で残った課題を見付ける。 ・ワンモア職場体験にどのような目的をもって取り組むか考える。 		③	ワークシート 振り返り	
	情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・授業をするために, どんな情報が必要か考える。 ・授業の実施のために必要な情報を収集する。(当該学年の授業参観, 担任との連携, 授業の準備の仕方等) 		②	ワークシート 振り返り	
	整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報から, どんな授業をしたいか考える。 ・教材研究を行い, 学習指導案と板書計画を作成する。 ・模擬授業と事後協議を行い, 授業の改善策を考える。(本時) ・職場体験で残った課題解決の視点も含め, 模擬授業後の反省を行い, 本番への準備を整える。 【本時 12/14】		③ ②	ワークシート 学習指導案 板書計画 振り返り	国語科 「わかりやすく伝える」
	まとめ・表現 実行 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ワンモア職場体験を実施する。 ・ワンモア職場体験について振り返る。 ・「働くこと座談会 (仮称)」を開き, 自他の考えを交流する。 ・単元の学習を振り返る。 	③		ワークシート 制作物 振り返り キャリア・ログ	道徳 「小さな工場の大仕事 (C13)」 学級活動 「学ぶことと働くことの意義」

4 本時について (本時 63/70)

(1) 本時の目標

作成した学習指導案をもとに模擬授業を行い、授業の流れをつかむとともに、よりよい授業になるよう、意見を出し合いながら改善策を考えることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点	◎評価規準 (評価方法) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て
導入	1 本時のめあてを確認する。	◇本時の流れを確認し、見通しをもてるようにする。	
	(めあて) 模擬授業を行い、授業の流れをつかむとともに、よりよい授業になるよう、改善策を考える。		
展開	○模擬授業に向けてグループで最終打ち合わせを行う。	◇模擬授業の際に気を付けること等、先生役・児童役、それぞれの役割を確認するよう促す。	
	2 模擬授業を行う。 ○本番のつもりで授業をする。	◇時間を計測する。 ◇教材・教具は、本番同様に使用できるようにする。 ◇後の指導のために、気付きをメモしておく。	
	【中心発問】 授業をそれぞれの立場で振り返って、「よりよい授業にするために」の視点で話し合おう。		
	3 模擬授業を振り返る。(個人) 【先生役のグループ】 うまかった点とうまくなかった点を挙げる。 【児童役のグループ】 先生役の指導について、よかった点と改善点を挙げる。	◇先生役の生徒には、「個人として」、「グループとして」のそれぞれの視点で振り返るよう促す。 ◇児童役の生徒には、なるべく具体的によい点・改善点を考えるよう促す。	◆それぞれの立場に応じた振り返りを書くよう促す。
4 授業の反省会を行い、改善策を話し合う。(グループ) ○先生役と児童役、それぞれの立場からの気付きを発表し合う。 ○よりよい授業になるよう、意見交流を行う。	◇話し合いが行き詰まる場合には、コーディネーターとして教員が話し合いに入る。 ◇建設的な話し合いができるように支援する。 ◇参観者としての気付きを伝える。	◎収集した情報を、視点を定めて分析したり、因果関係を推測したり、説明したりすることができる。(ワークシート、発言) 思③	
(深い学びにするための「しかけ」) ・それぞれの立場(先生役・児童役)からの気付きを出し合うことで、違う視点や広い視野で授業を振り返ることにつながる。 ・課題点の改善策を考えることに加え、「よかった点を更によくするためには？」といった視点での考えも出るように働きかける。			
終末	5 振り返りを書く。 ○ロイロノートで提出する。	◇本時で気付いたことや感じたこと、今後取り組みたいことについて記述するよう促す。	
	(振り返りの例) 【先生役】 模擬授業と反省会をして、○○という課題が見えた。話し合いの中で改善策を考えることができたので、次の時間にグループでもう一度話し合い、よりよい授業になるように工夫していきたい。 【児童役】 児童役となって模擬授業を受けてみて、先生役の○○という点が分かりやすかった。自分たちの授業でも取り入れてみたいと思った。		

5 本時の板書計画 等

- ・教室のホワイトボードの板書は、生徒の模擬授業の板書による。
- ・導入時や反省会において必要な場面では、教員がモニターに必要事項を提示する。

6 本時に関わる単元ルーブリック

観点	思考・判断・表現	
評価規準	収集した情報を、視点を定めて分析したり、因果関係を推測したり、説明したりしている。	
ルーブリック	A	B
	収集した情報を、視点を定めて分析したり、因果関係を推測したり、説明したりするとともに、具体的な改善案を提示している。	収集した情報を、視点を定めて分析したり、因果関係を推測したり、説明したりしている。